

2008年度活動報告書

財団法人北海道環境財団
北海道地球温暖化防止活動推進センター

はじめに

2008年度の事業報告をお届けします。

ここにまとめられた事業を拾ってみますと、“黄砂と気候変動”、“地球温暖化対策講演会「CO₂貯留技術と地域住民が取り組む地球温暖化」“、“サンゴ礁から見た地球温暖化“、“水フォーラム“など気候変動に関わるテーマのものが目を引きます。それに焦点を絞ったわけではないのですが、結果としてそうしたテーマのものが多くなったわけです。旭川市で開催した環境防災シンポジウムもまた「地球温暖化の今とこれから・私たちにできること」もまた、同じく気候変動にかかわるものでした。

これもそのひとつですが、“地球環境<危機>報告“は日本に迫る新たな食糧危機について、石 弘之さんの迫力ある講演でした。気候変動も含めて、人口の増大がおそらく近い将来に食糧危機をもたらすだろう、というものです。

年度も終わりに近づいた3月12日には釧路市で「タンチョウ・カフェ“山形弁で語り継ぐ・夕鶴（鶴の恩返し）”～人と鶴の関わりを考える～」が開かれました。山形県南陽市にある夕鶴館の語り部、多勢久美子さんの味のあるお話に会場一杯の人たちが酔いました。なかなか味のある、今までにないイベントだったと思います。

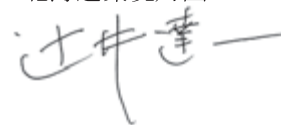
広報啓発活動では「幸せをよぶ・冬エコ おみくじかるた」の発行があります。

温暖化防止活動推進センター事業としては「大通りの打ち水作戦」、さっぽろシャワー通りイベント「クルマを置いて、まちをあるこう！！」、うちエコセミナー「外から、内から、暖まろう！」など、ここでも省エネが主題でした。

気候変動については、それへの対処の一つとして北海道気候変動モニタリングシステムネットワークの構築を一つの目標をしています。それは環境保全への大きな役割を果たすことになるでしょう。

財団法人 北海道環境財団

理事長



目次

1	環境保全活動支援事業	1
1-1	北海道環境サポートセンターの運営	
1-1-1	サポートセンターの業務	
1-1-2	利用状況	
1-1-3	視察団体の受入	
1-1-4	団体展示	
2	情報収集提供事業	4
2-1	機関紙「TGAL」の発行	
2-2	ホームページによる情報提供	
2-3	電子メールによる情報提供	
2-4	図書資料整備・貸出業務	
2-5	環境関連ビデオ・DVDの収集、提供	
2-6	環境保全活動団体の情報収集、提供	
2-7	環境情報関連施設の情報収集、提供	
2-8	環境関連チラシ、パンフレット類の収集、提供	
2-9	相談、照会対応等	
3	環境学習推進事業	6
3-1	環境セミナー事業	
3-2	子ども向け普及啓発プログラムの企画・実施（6-3-2参照）	
3-3	啓発資料の開発（『しあわせをよぶ・冬エコ おみくじ かるた』の発行）	
3-4	訪問学習への対応	
4	広報啓発事業	10
4-1	移動推進センター事業	
4-2	企画展示	
4-3	都道府県センター普及啓発・広報事業（6-3-1参照）	
5	各種環境保全活動との連携事業	12
5-1	環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務	
5-2	さっぽろキャンドルナイト2008実行委員会への参画	
5-3	事業者との連携	
5-4	札幌圏の中間支援施設との連携	
6	地球温暖化防止活動推進センター事業	15
6-1	地球温暖化防止活動推進員および連絡会の活動支援	
6-2	地球温暖化対策地域協議会の設立・活動支援・連携事業	
6-3	地球温暖化防止啓発事業	
6-3-1	都道府県センター普及啓発・広報事業	
6-3-2	啓発プログラムの企画・実施	
6-4	温暖化防止一村一品応援プロジェクト	
6-5	地球温暖化防止活動推進センターとしての各種ネットワークへの参画	
7	受託事業	21
7-1	平成20年度北海道地球温暖化防止活動推進員研修及び 温暖化対策『一村一品・知恵の環づくり』事業委託業務	

- 7-1-1 地球温暖化防止活動推進員研修事業
- 7-1-2 温暖化対策『一村一品・知恵の環づくり』事業（6-4参照）
- 7-2 平成20年度エコポイント等CO₂削減のための環境行動促進モデル事業
- 7-3 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運營業務
- 7-4 平成20年度自然再生事業再生普及行動計画運管管理業務
- 7-5 平成20年度コミュニティ・ファンド等を活用した
元気な北の環境保全活動促進事業に係る広報・一部調査業務
- 7-6 温暖化影響情報集約型CO₂削減行動促進事業（通称「いきものみつけ」）
北海道地域イベント実施業務
- 7-7 地域協働におけるカーボンオフセット（排出量と新エネ環境価値の取引）
モデル事業の一部調査業務
- 7-8 「第六回ほくでん環境ステークホルダーミーティング」企画・運営に関する業務委託
- 7-9 「ほくでん環境講演会」開催に伴う企画・運營業務
- 7-10 平成20年度江別市夏・冬休み環境学校実施業務
- 7-11 平成20年度千歳市こども環境教室実施業務
- 7-12 STV創立50周年開局記念環境キャンペーンのメディア展開案監修業務

1 環境保全活動支援事業

1-1 北海道環境サポートセンターの運営

当財団では、環境保全活動の支援や情報交流の拠点として、1997年10月JR札幌駅北側に「北海道環境サポートセンター」（以下、「サポートセンター」という。）を開設し、2006年10月から現在の場所へ移転して運営している。

1-1-1 サポートセンターの業務

[場 所] 札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4F
(JR札幌駅南口から徒歩約2～3分、地下鉄札幌駅コンコース直結)

[開 館] 10:00～18:00 (多目的ホールは21:00まで貸出可)

[休館日] 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

[施設概要]

- 相談カウンター
環境に関連する各種相談への対応、図書や普及啓発資材などの各種貸出の受付を行っている。
- 図書資料コーナー
環境関連図書資料約8,000冊、環境関連の定期刊行物42種類の閲覧が可能で、一部を除いて貸出(一人につき2冊2週間以内)も行っている。
※司書の資格を有するボランティアスタッフに、図書の整理を週一度実施いただいている。
- 情報交流コーナー
環境や市民活動に関する行事やお知らせの掲示、道内外の環境に関する活動団体や環境学習施設についての資料を揃えている。
- 展示コーナー
当財団主催展示のほか、道内の環境保全団体等がその活動を紹介する展示を行っている。
- 情報検索コーナー
インターネット用にパソコンを2台開放しており、ビデオ及びDVDの閲覧も出来る。
- 各種貸出
 - ・多目的ホール
環境保全活動に関わる会議、セミナー、展示などに貸出を行っている。付帯設備も利用可能。
(収容人員42名、利用時間:開館日の10:00～21:00、1時間単位で予約を受付。利用料:500円/時)
 - ・印刷機
軽印刷機(リソグラフ)を無料で開放している。(用紙は利用者負担/要事前申し込み)
 - ・普及啓発資材
ビデオ、DVD、パネル、学習支援キットなどの貸出を行っている。



1-1-2 利用状況

2008年度より土曜日が休館日となったことから来館者数等は減少しているが、利用者のニーズに適応した施設運営を行いながら、近隣の環境関連施設との情報交換・連携を図っている。利用状況は次頁のとおり。

■ 来館者の状況

2008年度のサポートセンターの開館日数は243日で、この間の来館者数は9,397人(開館日平均38人)であった。

(単位：人)

	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
サタデー	2,821	3,009	4,830	2,419	2,233	2,751	1,980	1,494	—
ホール	5,482	5,321	4,920	4,547	3,367	3,428	2,957	4,566	3,280
一般来館者	9,256	11,504	11,481	11,457	11,252	8,137	8,821	8,704	6,117
来館者数	17,559	19,834	21,231	18,423	16,852	14,316	13,758	14,764	9,397

■ 多目的ホールの利用状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
件数	184件	204件	167件	207件	157件
時間	698時間	875時間	622時間	850時間	618時間

■ 印刷機の利用状況

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
件数	146件	115件	109件	132件	124件
枚数	98千枚	71千枚	128千枚	70千枚	99千枚

■ 普及啓発資料の貸出状況

	2006年度	2007年度	2008年度
ビデオ(143種類)	72件	64件	72件
パネル(2種類各1セット)	9件	12件	11件
学習支援キット	61件	83件	68件

■ 図書・資料の貸出状況

これまでの利用登録者数:1,045人

	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度
個人貸出件数	808件	663件	522件	552件	279件
団体貸出件数	8件	9件	6件	7件	25件

1-1-3 視察団体の受入

下記の7団体97名の来訪があった。(訪問学習等は3-4に記載)

(2008年)

4月2日	東京都江東区議会議員	4名
4月16日	北海道議会議員公明党	8名
8月4日	北海道経営者協会インターン	7名
8月22日	北海道環境生活部環境局インターン	6名
10月1日	岩見沢幌向地区町会連絡協議会	33名
11月6日	公明党議員団	7名

(2009年)

1月13日	JA帯広かわにし上帯広富士別府	32名
-------	-----------------	-----

1-1-4 団体展示

道内で活動する環境保全活動団体に、センター内の中央展示スペースの一部を開放しており、以下の6件の展示を行った。

展示名	展示期間	展示主催
石狩浜定期観察紹介展	2008年 4月16日～25日	石狩浜定期観察の会、 石狩浜海浜植物保護センター
第10回 高校生環境学習ポスターセッション作品展	5月13日～27日	環境学習フォーラム北海道
環境マンガ展	6月23日～7月11日	ほっかいどう漫画集団
南アフリカの天使たち アフリカンクラフトアート展	11月25日～28日	これからや&第3世界ショップ
省エネエコメッセ2008	12月8日～26日	NPO法人北海道グリーンフレンズ
モーダルシフトパネル展 ～環境にやさしい物流の実現に向けて～	2009年 2月2日～6日	北海道



2 情報収集提供事業

2-1 機関紙「TGAL」の発行

道内の環境保全団体などから寄せられる情報や、環境サポートセンターからのお知らせ、職員によるコラムなどを主な内容として、毎月道内の環境保全団体、環境関連施設や機関などに配布している。2008年度からは賛助会員の中にTGAL郵送会員を設け、希望者に郵送している。2008年度末で136号を発行し、現在の発行部数は毎月約2,900部となっている。

※ウェブでのTGAL閲覧：

http://www.heco-spc.or.jp/news/about/online_tgal.html

※メールでのTGAL受取：

http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news_00.html



2-2 ホームページによる情報提供

当財団が有する情報やサポートセンターからのお知らせ、道内の環境保全活動団体などから寄せられる情報をホームページで公開、発信している。2008年度は、新たにスタッフが執筆するブログ形式のコラムを作成した。

ホームページ訪問者数：297,150件（一日平均約814件）

※財団法人北海道環境財団/北海道環境サポートセンター

ホームページ：<http://www.heco-spc.or.jp/>



2-3 電子メールによる情報提供

サポートセンターに寄せられる環境に関する行事予定情報や各種案内、当財団からのお知らせを主な内容とするメールニュースを週刊で発行している。配信先は、個人約650名、加えて道内外の様々なメーリングリストへの投稿を行っている。

※メールニュース申し込み：http://www.heco-spc.or.jp/news/about/news_00.html

2-4 図書資料整備・貸出業務

環境関連の書籍及び団体が発行する刊行物の収集を行った。また、書籍の配架スペースを広げ、整備を行った。2008年度末現在、蔵書数約8,060冊、定期刊行物43種類を配架している。

2-5 環境関連ビデオ・DVDの収集、提供

環境関連のビデオ・DVDを収集し、貸出を行っている。2008年度末現在、所蔵しているビデオ・DVDは194本（うち当財団の主催セミナー記録ビデオは74本）で、サポートセンター館内閲覧用の51本を除いて、館外への貸し出しを行っている。



2-6 環境保全活動団体の情報収集、提供

環境保全分野で活動している道内団体の情報を収集し、団体の名称や活動内容、連絡先等を当財団のホームページ上にデータベースとして公開している。2008年度末までに掲載した道内環境保全活動団体数は391団体。また、サポートセンター内にある道内環境保全活動団体閲覧資料コーナーでは、データベース掲載団体の中で、ニュースレターやパンフレットなどを発行し、ファイルに綴ることを希望された189団体の資料を自由に閲覧することが出来る。同様に、道外環境関連団体コーナーでは、道外で活動する環境関連団体や、環境関連施設など652箇所の資料を揃えている。

※北海道の環境保全団体情報データベース：

http://www.heco-spc.or.jp/eco_db/phpdb.php?table=organization&skin=list

2-7 環境情報関連施設の情報収集、提供

道内の環境関連施設、市民活動サポート関連施設の資料を、サポートセンター内にある環境関連施設コーナーで公開している。2008年度末現在、環境関連施設199箇所、市民活動サポート関連施設等58箇所についての情報を閲覧することが出来る。また、ウェブ公開の承諾を得られた159施設については、「北海道の環境学習・教育施設データベース」に収録し、当財団のホームページで公開している。

※北海道の環境学習・教育施設データベース：

http://www.heco-spc.or.jp/eco_db/phpdb.php?table=facility&skin=list

2-8 環境関連チラシ、パンフレット類の収集、提供

道内のイベントや人材募集、助成金に関する情報を収集し、サポートセンター内にある環境関連チラシのコーナーで、掲示及び配布を行っている。また、各機関が発行している普及啓発パンフレットを収集し、サポートセンター内にあるパンフレットコーナーで来館者に提供している。（2008年度末、約95種類を配布）。



2-9 相談、照会対応等

環境保全活動に関する各種相談や問い合わせを随時受け付け、所要の情報提供や各種支援を実施している。

3 環境学習推進事業

3-1 環境セミナー事業

NPO、市民団体、行政機関、地球温暖化対策地域協議会、メディアとの共催により、道内各地で下記のとおり12回のセミナーを開催した。

■ 黄砂と気候変動—北東ユーラシアで何が起きているのか

[日時] 2008年6月5日(木) 18:30~21:00

[場所] 環境サポートセンター

[内容] 「黄砂発生の自然要因と人為的要因」

星野 仏方氏(酪農学園大学生命環境学科 環境リモートセンシング室 准教授)

「気候変動と北東ユーラシア」

杉本 敦子氏(北海道大学 大学院地球環境科学研究所 教授)

[参加者] 54名

[主催] (財)北海道環境財団

■ 持続可能な江別のまちづくり～食で始める温暖化防止

[日時] 2008年6月15日(日) 13:30~16:00

[場所] 野幌公民館

[内容] 基調講演「E-まち江別づくり 産消協働の取組み」杉野 邦彦氏((株)菊水 常務取締役)

パネルディスカッション「食農・環境 江別からのメッセージ」

コーディネーター 佐久間 良博氏(江別製粉(株) 取締役営業部長)

パネル

杉野 邦彦氏((株)菊水 常務取締役)

大熊 久美子氏(食の自給ネットワーク事務局長)

萩原 秀樹氏(JA道央江別支所 畑作部会長)

高橋 邦秀氏(北海道大学名誉教授)

[参加者] 65名

[主催] (財)北海道環境財団、えべつ地球温暖化対策地域協議会

■ 地球温暖化対策講演会「CO₂貯留技術と地域住民が取り組む地球温暖化」

[日時] 2008年6月21日(土) 9:30~11:30

[場所] 札幌ドーム西棟会議室B

[内容] 「二酸化炭素の貯留技術について」

村井 重夫氏

((財)地球環境産業技術研究機構 主席研究員)

「地域住民が取り組む温暖化対策について」

鬼沢 良子氏

(NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット

事務局長)

[参加者] 60名

[主催] 北海道、北海道経済産業局、北海道開発局

環境省北海道地方環境事務所、(財)北海道環境財団

[協力] 北海道大学、北海道経済連合会、伊藤忠商事株式会社



■ 札幌公共交通おでかけ講座～「環境と交通」「なまら便利なバスマップ」の使い方～

[日時] 第1回:2008年6月20日(金)14:00~15:30 第2回:2008年7月15日(火)18:00~19:30

[場所] 環境サポートセンター

[講師] 松本 公洋氏(NPO法人交通倶楽部ゆうらん 理事長)

[参加者] 第1回:4名 第2回:10名

[主催] (財)北海道環境財団

[共催] NPO法人交通倶楽部ゆうらん

[後援] 北海道立市民活動促進センター((財)北海道地域活動振興協会)

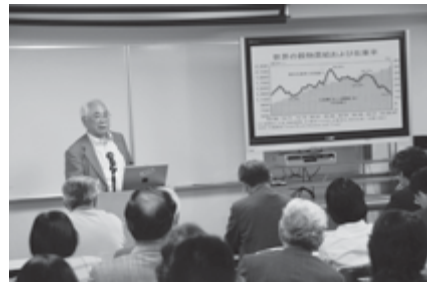
■ **サンゴ礁から見た地球温暖化 美南の海から**
 ～さんごのふるさと100年後～

[日時] 2008年8月4日(月) 18:30～20:30
 [場所] 環境サポートセンター
 [講師] 入川 暁之氏
 [参加者] 51名
 [主催] (財)北海道環境財団、ほっかいどう海の学校
 さっぽろ地球温暖化対策地域協議会



■ **地球環境<危機>報告ー日本に迫る新たな食料危機ー**

[日時] 2008年9月12日(金) 18:30～20:30
 [場所] 環境サポートセンター
 [講師] 石 弘之氏
 [参加者] 70名
 [主催] エコ・ネットワーク
 [共催] (財)北海道環境財団



■ **水フォーラム「さっぽろの水について知ろう！」**

[日時] 2008年10月18日(土) 13:30～16:00
 [場所] 環境サポートセンター
 [講師] 小林 三樹氏(藤女子大学大学院教授)
 山崎 栄子氏(生活クラブ生活協同組合)、横山 武彦氏(環境学習フォーラム北海道)
 [参加者] 33名
 [主催] 環境省北海道地方環境事務所
 [共催] (財)北海道環境財団

■ **環境防災シンポジウム「地球温暖化のいまとこれから・私たちにできること」**

[日時] 2008年11月24日(月・祝) 13:00～17:00
 [場所] 旭川市大雪クリスタルホール
 [内容] 「世界と日本における地球温暖化の現状と今後」
 山崎 孝治氏(北海道大学大学院 地球環境科学研究院 教授)
 「120年の観測記録から見た旭川市と道北地方の気象の変化」
 永澤 義嗣氏(旭川地方気象台長)
 「「低炭素社会」の構築に向けて」
 竹安 一氏(環境省北海道地方環境事務所 統括環境保全企画官/環境対策課長)
 「私たちができること～もっとすてきにエコライフ」
 宮森 芳子氏(北海道地球温暖化防止活動推進員)
 パネルディスカッション
 コーディネーター 山崎 孝治氏(北海道大学大学院 地球環境科学研究院 教授)
 パネル 上記講演者4名
 水島 徹治氏(旭川開発建設部 次長)
 志賀 弘行氏(北海道立中央農業試験場 環境保全部長)
 [参加者] 300名
 [主催] 旭川地方気象台
 [共催] 旭川市、上川支庁、北海道開発局旭川開発建設部、環境省北海道地方環境事務所、
 日本放送協会旭川放送局、北海道地球温暖化防止活動推進センター
 (財)北海道環境財団)、(財)日本気象協会北海道支社旭川支店
 [後援] (株)北海道新聞社旭川支社、あさひかわ新聞、(株)ライナーネットワーク、FMりべる

■ 「しあわせをよぶ・冬エコ おみくじ かるた」出版記念スライド&トーク
エコライフ世界遺産～世界のエコの知恵めぐり

[日時] 2008年12月13日(土) 14:00～16:00
[場所] 環境サポートセンター
[講師] はら みづほ氏
[参加者] 18名
[主催] (財)北海道環境財団
[協力] タネポタアニ



■ 環境フォーラム

「エコ知恵つけて徳ライフ～北海道からCHANGE!～」

[日時] 2009年2月21日(土) 13:00～16:00
[場所] 旭川市科学館サイパル
[内容] 基調講演 田中 優氏(未来バンク理事長)
パネルディスカッション
コーディネーター 岩井 尚人氏(北海道地球温暖化防止活動推進員)
パネル 田中 優氏(未来バンク理事長)
佐々木 隆浩氏((株)アレフ 恵庭エコプロジェクト)
清水 隆幸氏(旭川市環境部環境保全課)

[参加者] 67名
[主催] 旭川NPOサポートセンター
[共催] (財)北海道環境財団、環境の保全と創造に関する旭川地域協議会

■ タンチョウカフェ 山形弁で語り継ぐ「夕鶴(鶴の恩返し)」～人と鶴の関わりを考える～

[日時] 2009年3月13日(土) 18:30～20:00
[場所] 釧路市浪花町十六番倉庫
[内容] 夕鶴の語り 多勢 久美子氏(夕鶴の里語り部ボランティア)
フリートーク 「人と鶴の関わりを考える」
コーディネーター 辻井 達一((財)北海道環境財団 理事長)
ゲスト 多勢 久美子氏
鈴木 千恵氏(童話と絵本の店「プー横丁」 店長)
谷田部 二郎氏(アサヒビール株式会社 北海道統括本部 本部長)

[参加者] 95名
[主催] (財)北海道環境財団
[協賛] アサヒビール株式会社、ニッカウキスキー株式会社

3-2 子ども向け普及啓発プログラムの企画・実施(6-3-2 参照)

3-3 啓発資材の開発(『しあわせをよぶ・冬エコ おみくじ かるた』の発行)

冬期間の暖房による温室効果ガス排出が高い北海道の啓発ツールとして北国ならではの「衣」「食」「住」「遊」の工夫や知恵を盛り込んだカルタを作成した。(イラスト:森迫暁夫氏、絵札・おみくじ作成:はらみづほ氏)販売価格は2,000円(税別)で、500セットを作成。



3-4 訪問学習への対応

学校における環境学習を支援する目的から訪問学習を受け入れており、地球温暖化をテーマとした学習においては、ゲームやワークショップ等を交えたプログラムも実施している。（6-3-2 参照）

2008年度の校外学習受入校は下表の通り。（合計12校 191人）

対応日時	学校名 学年等	人数	対応内容
2008年 6月9日	札幌市立東米里中学校 2年生、3年生	6人	質問対応、施設案内、調べ学習補助
7月17日	札幌市立南幌中学校 2年生	43人	質問対応、調べ学習補助
6月27日	日本福祉看護学院	19人	温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助
8月26日	恵庭市立恵庭中学校 3年生	2人	質問対応、調べ学習補助
9月19日	由仁町立由仁中学校 1年生	10人	質問対応、施設案内、調べ学習補助
10月17日	札幌市立中央中学校 2年生	21人	温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助
10月23日	札幌市立平岡緑中学校 1年生	3人	質問対応、施設案内、調べ学習補助
10月24日	札幌市立宮の森中学校 2年生	5人	温暖化防止啓発プログラム実施、質問対応、調べ学習補助
11月7日	札幌市立八軒中学校 1年生	14人	温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助
11月14日	札幌市立新川中学校 1年生	33人	温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内、調べ学習補助
11月27日	札幌市立太平中学校 3年生	11人	質問対応、調べ学習補助
12月5日	日本福祉看護学院	24人	温暖化防止啓発プログラム実施、施設案内



4 広報啓発事業

4-1 移動推進センター事業

道内で行われた行事や施設において、地球温暖化や環境保全活動に関する情報提供を行ったほか、小学校等において、地球温暖化防止をテーマとしたプログラムを実施した。

開催日【開催地域】	イベント名《主催》	実施内容
2008年 5月17日【札幌】	Earthday Ezo 2008 in 大通り公園 《Earthday Ezo 2008実行委員会ほか》	パネル掲示、パンフレット配布
5月24日【中標津】	ねむろ子ども環境サミット 《ねむろ子ども環境サミット実行委員会》	温暖化防止啓発プログラムの実施
5月24日～7月11日 【札幌】	サミット広場・さっぽろホスピタリティスペース 《札幌市、北海道旅客鉄道株式会社》	パネル掲示、パンフレット配布
6月2日～26日【千歳】	環境月間パネル展《千歳市》	パネル掲示、パンフレット配布
6月5日【釧路】	環(わ)がまち釧路フェスタ《釧路市》	パネル掲示
6月10日【札幌】	Re-Style LIVE Vol.5 札幌会場 《チームマイナス6%（環境省）》	パネル掲示、パンフレット配布
6月14日【札幌】	あそびの屋台村《札幌市青少年センター》	温暖化防止啓発プログラムの実施
6月14日、15日【江別】	江別環境広場 2008 《えべつ地球温暖化対策地域協議会》	パネル掲示、パンフレット配布、 温暖化防止啓発プログラムの実施
6月14日【北見】	青空リサイクル自転車市 《るべしベECO倶楽部》	パネル掲示、パンフレット配布
6月19日～21日【札幌】	環境総合展2008《北海道洞爺湖サミット記念 環境総合展2008実行委員会》	パネル掲示、パンフレット配布
6月22日～27日【留萌】	留萌支庁環境月間パネル展 《北海道留萌支庁》	パネル掲示
6月28日【北見】	くるるん・きたみ《リサイクル実行委員会》	パネル掲示、パンフレット配布
6月28日、29日、7月4日、 7月6日、8日、11日、13日 【千歳】	新千歳ECO-AIRPORT 2008 《北海道空港株式会社》	パネル掲示、パンフレット配布、 温暖化防止啓発プログラムの実施
7月7日～25日【札幌】	ガイアナイトコンサート 《北海道石狩支庁、サッポロビール株式会社》	パネル掲示、パンフレット配布
7月7日【旭川】	「TOGI+BAO全国ツアー2008」 《東儀秀樹+BAOコンサート旭川実行委員会》	パネルの掲示、FMリバー出演
8月2日【江別】	江別市夏休み親子環境学校 《江別市環境課》	温暖化防止啓発プログラムの実施



8月7日【札幌】	わくわくエコひろば in SUMMER 《北海道ほか》	パネル掲示、パンフレット配布、 温暖化防止啓発プログラムの実施
8月30日、31日【札幌】	住宅リフォームフェア 2008 in 札幌 《株式会社リフォーム産業新聞社》	パネル掲示
9月7日【函館】	はこだて・エコフェスタ2008 《環境フェスティバル実行委員会》	パネル掲示、パンフレット配布、 温暖化防止啓発プログラムの実施
10月2日～4日【富良野】	ふらの環境展2008 《ふらの市民環境会議》	パネル掲示、パンフレット配布
10月18日、19日【稚内】	宗谷支庁エコライフ・フェア 《北海道宗谷支庁》	パネル掲示、パンフレット配布
10月22日、23日【札幌】	第5回アジア・太平洋埋立国際会議(APLAS)札幌 2008 《アジア太平洋埋立国際会議札幌2008実行委員会》	パネル掲示、パンフレット配布
11月29日【千歳】	北海道洞爺湖サミット・J8サミット展 《北海道、北海道洞爺湖サミット道民会議》	温暖化防止啓発プログラムの実施
12月13日【千歳】	千歳市子ども環境教室《千歳市》	温暖化防止啓発プログラムの実施
2009年 1月14日【江別】	江別市冬休み環境学校《江別市環境課》	温暖化防止啓発プログラムの実施
2月14日【札幌】	北海道環境教育ミーティング体験屋台 《北海道環境教育ミーティング実行委員会》	温暖化防止啓発プログラムの実施
2月21日、22日【札幌】	第3回環境科学展～わくわくエコひろば 《札幌市青少年科学館、北海道》	温暖化防止啓発プログラムの実施
3月1日【砂川】	第8回そらち移動エコラウンジ 《空知支庁、NPO法人オアシス、地域エコクラブ KIDS”さくらんぼクラブ”・”ソレ イコクラブ”、婦人之 会砂川友の会、砂川消費者協会、砂川子どもの水辺 協議会、絵手紙らんらん、絵手紙遊ゆう》	温暖化防止啓発プログラムの実施

4-2 企画展示

環境保全活動や地球温暖化の影響などを伝えるための広報、周知、啓発手段の一つとして、環境サポートセンター内で以下3件の展示を行った。

展示名	展示期間	展示主催
アースデイEZO2008展	2008年 4月17日～6月22日	Earthday EZO 2008実行委員会、(財)北海道環境財団、 札幌市、札幌市環境プラザ、(財)札幌市公園緑化協会
さっぽろキャンドルナイト2008展	6月5日～20日	(財)北海道環境財団 協力:さっぽろキャンドルナイト実行委員会
サンゴ礁と共に 一人の暮らし・生 き物の暮らし	8月6日～19日	(財)北海道環境財団、全国巡回写真展実行委員会

4-3 都道府県センター普及啓発・広報事業(6-3-1 参照)

5 各種環境保全活動との連携事業

5-1 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務 (7-3に再掲、詳しくは別途報告書あり)

2005年度より環境省北海道環境パートナーシップオフィス（以下「EPO北海道」）の運営を担っている。3年間の委託期間の最終年度である今年度は、引き続き北海道地方環境事務所との協働により事業を展開した。主な事業は下記のとおり。詳細は、EPO北海道のホームページ（<http://www.epohok.jp>）を参照。

■ G8 サミット環境パートナーシップ連絡会（2007度からの継続）

[開催日] 第3回：2008年4月21日、第4回：6月11日、第5回：9月29日

[内容] G8北海道洞爺湖サミットに関連する環境分野の情報共有

■ 環境総合展出展

[開催日] 2008年6月19日、20日、21日

[内容] 企業のパートナーとのマッチングを目的としたNPO・NGO 活動のパネル展

■ 環境分野の中間支援拠点・組織連絡会議（5-4に再掲）

[開催日] 第1回：2008年7月14日、第2回：8月21日、第3回：9月30日、第4回：11月6日、
第5回：12月18日、第6回：2009年2月9日、第7回：3月23日

[内容] 札幌圏域の環境分野の中間支援拠点・組織の連携強化、業務の効率化、サービスの向上、ユーザーからの意見聴取

■ (株) ガリバーインターナショナル研修&ボランティア活動コーディネート

[開催日・実施場所] 2008年7月16日：霧多布湿原トラスト、7月22日：富良野自然塾フィールド

[内容] 研修を行うNPO・NGOの紹介とコーディネート

■ CSR 戦略会議開催

[開催日] 概ね月1回程度開催

[内容] 北海道でCSRを推進している関係者会議

■ コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動推進事業

[内容] 環境省が行っている「コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動推進事業」における「元気な北海道コミュニティ・ビジネス推進協議会」を側面支援。GEIC（東京・青山）での広報、EPO北海道ホームページでの広報、協議会の側面支援等

■ 『エコロジーな集合住宅、エコロジカルなライフスタイル～環境に配慮した理想の賃貸集合住宅を考える～』開催

[開催日] 2008年6月14日

[内容] エコに配慮した集合住宅の紹介、「東京発！エコが変える新しい集合住宅のカタチ」を紹介



■ 『持続可能な「団体運営」のために今できること！～組織基盤強化セミナーと
Panasonic NPOサポートファンド助成公募～』開催

[開催日] 2008年7月26日

[内容] 組織基盤強化セミナー、Panasonic NPO サポート ファンド助成公募説明

■ 『持続可能な開発のための教育（ESD）連続セミナー（函館開催）』開催

[開催日] 第1回：2008年7月12日～13日、第3回：9月27日、第4回：11月15日

[内容] 第1回：「開発教育/国際理解教育から考えるESD」

第3回：「持続可能な社会とは？～愛媛とモザンビークのつながりから見えてくるもの～」

第4回：「かつお節」を切り口にグローバリゼーションを考える

■ 環境と仕事！あなたなりの「働く」を考える！（EPO 北海道×環境NGO ezorock presents）

[開催日] 2008年9月9日

[内容] 「企業の環境配慮に関する道内学生の意識調査」報告、事例報告、ディスカッション

■ 『地球温暖化防止をめざす環境学習セミナー～豊平峡ダム・定山溪ダム見学会に行こう～』開催

[開催日] 2008年6月1日

[内容] 環境カウンセラーとの協力・連携、エネルギー事情や水力発電の占める位置、水環境についての学習

■ 環境政策に関する意見交換会

第1回：稚内市「宗谷環境教育ステークホルダーミーティング」

第2回：帯広市「北海道環境政策コミュニケーションツアー2008 in とかち

～十勝のアイデアを全国へ～」

[開催日] 第1回：2008年11月20日、第2回：11月26日

[内容] 第1回：稚内市・環境省の今後の環境教育関連事業について説明

第2回：政策提言、平成21年度重点施策についての説明、

「平成19年度 優秀に準ずる提言」の事例紹介



5-2 さっぽろキャンドルナイト2008実行委員会への参画

「一年中で一番昼が長い夏至の日、夜8時から10時の2時間、みんなで一斉に電気を消して、スローな夜を過ごそう」という100万人のキャンドルナイトの呼びかけに賛同し、札幌市内で開かれる様々な取り組みを広く市民に周知し、キャンドルナイトへの参加を呼びかけた。「さっぽろキャンドルナイト2008」では、キャンドルナイトレストラン64件、キャンドルナイトイベント50件の催しが行われた。



5-3 事業者との連携

G8北海道洞爺湖サミットが開催された今年度は、企業の環境に対する関心が高まり、環境保全活動に対する寄付も多様化するなど、当財団に対する相談や照会は例年に比べ多いものとなった。今年度は札幌テレビ放送株式会社の創立50周年記念環境キャンペーンの一環として実施された環境保全活動支援助成金の監修事務（7-12参照）を実施した。また、昨年に引き続き、北海道電力株式会社環境コミュニケーション活動の一環として、環境講演会や環境ステークホルダーミーティングの企画運営（7-8、7-9参照）を行った。そして、アサヒビールのタンチョウ保護キャンペーンを受け、釧路市においてタンチョウカフェ『山形弁で語り継ぐ民話「タ鶴（鶴の恩返し）」～人と鶴の関わりを考える～』（3-1参照）を開催した。

5-4 札幌圏の中間支援施設との連携

札幌圏には、当財団が運営する北海道環境サポートセンターのほか、札幌市が運営する札幌市環境プラザ、NPO法人北海道市民環境ネットワーク、環境省北海道地方環境事務所と同財団が協働で運営する北海道環境パートナーシップオフィスの4つの中間支援組織がある。今年度からEPO北海道が中心となり、環境分野の中間支援拠点・組織連絡会議を4回に渡り開催し、より効率的な支援策を議論した。

開催日	開催場所	内容
2008年 7月14日	北海道環境サポートセンター	4拠点・組織の概要とその補足説明、課題の抽出、整理認識と共有を行った。ここで各組織の強み・弱みを抽出した。
8月21日	札幌エルプラザ	ビジョンを語り、役割分担、棲み分け、協働、連携のアイデア出しを行い、各組織の具体的な取組の情報交換、具体的に何かできそうかを描いた。
9月30日	北海道市民環境ネットワーク	具体的に4組織協働で「ユーザー」に提供できるものは何か、継続的意見交換と「ユーザー」意見の反映方策について検討した。
11月6日	EPO北海道	イベント情報の共有について、ユーザーのニーズの把握について検討した。
12月18日 準備ワーキング	EPO北海道	各施設からの近況報告、4施設協働イベントカレンダーの作成進捗報告、ユーザーの声を聞く会について検討した。
2009年 2月9日	EPO北海道	ユーザーの意見を聞く会についての基本的な考え方、今後のスケジュール、運営体制についての情報共有及び検討。4施設協働イベントカレンダーの成果物紹介、現状課題と改善案、今後のスケジュール、広報戦略の可能性について確認した。
2月25日	EPO北海道	NPOの組織運営やCSRの普及などで有名なIIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]の川北秀人氏をお招きし、環境系の中間支援連絡会議での議論の状況やこれからの方針について、評価や助言をしていただいた。
3月23日 ユーザーの意見を聞く会	札幌エルプラザ	普段、札幌圏の環境系中間支援組織と関わりのあるユーザー 6名に参加してもらい、中間支援として望むことや運営の方法などについてご意見をいただいた。



6 地球温暖化防止活動推進センター事業

6-1 地球温暖化防止活動推進員および連絡会の活動支援

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、北海道知事より委嘱された「北海道地球温暖化防止活動推進員」（全道28名、任期2年、4期目、2007年4月～2009年3月）の活動を支援した。具体的には、推進員研修会の実施（7-1参照）、温暖化防止に関する最新情報、資料、パンフレット、新聞情報の提供や問い合わせ対応などの他、事業共催などを行った。

また、推進員が自発的に組織した「北海道地球温暖化防止活動推進員連絡会」の活動も支援している。同連絡会との協働により、専用ホームページ（<http://www.heco-spc.or.jp/temp/suisinin/index.html>）の開設（2005年10月～）と運営を行い、推進員活動PRを行っている。アクセス数は、2007年度が延べ6,256件（2007年4月～2008年3月）、2008年度が延べ7,869件（2008年4月～2009年3月）となり、増加傾向にある。こうした広報活動もあり、本サイトを見ての講演依頼などが増えている。この他、推進員制度の広報パンフレットを作成し、各支庁や関係団体へ配布している。



6-2 地球温暖化対策地域協議会の設立・活動支援・連携事業

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づいて設立された地球温暖化対策地域協議会が、道内では19団体が設立されており、その支援を行っている。今年度は、「さっぽろ地球温暖化対策地域協議会」（札幌市及びその近郊）と「環境の保全と創造に関する旭川地域協議会」（旭川市）、「えべつ地球温暖化対策地域協議会」（江別市）の3つの地域協議会と当財団（北海道地球温暖化防止活動推進センター）との協働・連携により、フォーラムや展示などを実施した。

6-3 地球温暖化防止啓発事業

6-3-1 都道府県センター普及啓発・広報事業（環境省補助）

身近な生活における温暖化防止行動を促進する目的から、以下の事業を行った。

■ おおどおりの打ち水大作戦

[日時、場所及び参加者数]

- 2008年7月27日（日） 13:30～16:00
札幌市中央区南2条西4丁目交差点 約300名
- 2008年8月10日（日） 13:30～16:00
札幌市中央区南2条西2丁目 約200名

[実施体制]

- 主催：大通地区まちづくり協議会、（財）北海道環境財団
- 共催：札幌都心にぎわいづくり実行委員会
- 協力：札幌市

[内容] 札幌市創成川水再生プラザの高度処理水を利用した打ち水及びアンケートの実施



■ さっぽろシャワー通りイベント「クルマをおいて、まちをあるこう!!」

[日時、場所及び参加者数]

- 2008年9月6日（土） 13:30～16:00
札幌市中央区南2条西3丁目（さっぽろシャワー通り商店街） 約2,000人

[実施体制]

- 主催：「クルマをおいてまちをあるこう実行委員会」
（さっぽろシャワー通り商店街、（財）北海道環境財団、札幌市市民情報センター）
- 共催：札幌都心にぎわいづくり実行委員会

[内容] ステージイベント（FM番組「Eco&Jazz」公開収録、ジャズバンド演奏）、温暖化防止啓発プログラムの実施、クルマをおいてまちをあるこうパネル掲示、冊子配布等

■ 家庭や学校における温暖化防止行動の促進

～学校、地域イベントにおける温暖化防止啓発プログラムの実施～

[開催日、対象及び参加者数]

(2008年)

6月19日、20日、21日 「環境総合展2008」における実施 約150名

6月5日 「釧路市立城山小学校 6年生児童33名」への実施

6月5日 「釧路市立釧路小学校 4年生児童64名」への実施

6月6日 「釧路市立東雲小学校 4年生児童29名」への実施

6月13日 「江別市立大麻泉小学校 6年生児童40名」への実施

8月28日 「江別市立第3小学校 6年生児童50名」への実施

10月3日 「富良野市立鳥沼小学校 3～6年生児童38名」への実施

※温暖化防止啓発プログラムの貸出、実施レクチャー（9団体に貸出。必要に応じてレクチャー等を実施）

■ 家庭におけるウォームビズの取り組み促進～北海道ウォームビズ2008パネル展の開催

暖房エネルギーの節約につながる様々な工夫を紹介したイラストパネルの掲示、啓発冊子の配布等を行った。

開催日【開催地域】	イベント(開催場所)名	イベント主催
2008年 11月29日【北見】	おもちゃリサイクル市INるべしべ	るべしべECO倶楽部
11月29日【千歳】	北海道洞爺湖サミット・J8サミット展	北海道 北海道洞爺湖サミット道民会議
12月1日 ～2009年1月30日【札幌】	札幌市環境プラザ	札幌市環境プラザ (財)北海道環境財団
12月8日～26日【岩見沢】	第4回そらちエコラウンジ	北海道空知支庁 (財)北海道環境財団
12月14日【江別】	知って得するうちエコ講座 第3回うちエコセミナー	えべつ地球温暖化対策地域協議会、(財)北海道環境財団
12月14日【月形】	電気を作ろう&キャンドルナイトin月形	地球を愛する会@月形、北海道空知支庁
12月18日、19日【札幌】	北海道ウォームビズ展	北海道ほか
2009年 1月11日【札幌】	ウォームビズファッションショー はおるコレクション 2009冬	浅井学園北海道ドレスメーカー学院、谷内学園北海道文化服装専門学校、宮島学園ファッションドレスメーカー専門学校、北海道
1月30日【札幌】	北海道ウォームビズセッション	北海道ほか
2月14日、15日【北見】	北見冬まつり 体験屋台「流水つりぼり」	NPO法人常呂川自然学校
2月21日、22日【札幌】	第3回環境科学展～わくわくエコひろば～	北海道ほか
3月1日【砂川】	第8回そらち移動エコラウンジ	《空知支庁、NPO法人オアシス、地域エコクラブKIDS”さくらんぼクラブ”・”ソレ イユクラブ”、婦人之会砂川友の会、砂川消費者協会、砂川子どもの水辺協議会、絵手紙らんらん、絵手紙遊ゆう》
3月13日【釧路】	タンチョウカフェ 山形弁で語り継ぐ民話「夕鶴(鶴の恩返し)～人と鶴の関わりを考える	(財)北海道環境財団

■ 家庭におけるウォームビズの取り組み促進～知って得するうちエコ講座の開催

生活の中で様々な工夫を行うことで、暖房に過度に頼り過ぎずに冬を快適に過ごすライフスタイルを提案する目的から、講座を開催した。

あったか小物手作り講習会（ミニ・マフラー）

- [日時] 2008年12月5日（金）10：00～12：00
- [場所] 北翔大学短期大学部被服室（江別市文京台23）
- [講師] 泉山 幸代氏（北翔大学短期大学部人間総合学科教授）
- [主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会
北海道地球温暖化防止活動推進センター



うちエコセミナー「外から、内から、暖まろう！」

- [日時] 2008年12月14日（日）13：30～16：00
- [場所] 野幌公民館 研修室3・4号（江別市野幌町13-6）
- [内容・講師]
- 「家庭で美味しく温暖化防止 地元の食材で、手軽で美味しい保温調理」
講師：関 真澄氏（江別友の会）
- 「江別での取り組み～地産地消へのチャレンジ」
講師：滝口 由美氏（札幌学院大学）
- 「安全で暖かく、楽しい衣服からエコロジー」
講師：泉山 幸代氏（北翔大学短期大学部人間総合学科教授）
- 保温調理で作ったポトフの試食と質疑応答
- [主催] えべつ地球温暖化対策地域協議会
北海道地球温暖化防止活動推進センター



■ webサイト「北海道ウォームビズ2008」の企画・運営

暖房エネルギーの節約につながる様々なアイデアや講座の講演録等を衣食住遊の切り口からとりまとめ、掲載した。

※北海道ウォームビズ2008 ホームページ：<http://www.warmbiz-hokkaido.net/>

6-3-2 啓発プログラムの企画・実施

ボランティアスタッフの参画のもと、「地球温暖化ふせぎ隊」（以下「ふせぎ隊」と略）の名称で、広く道内を対象に学校や地域で開催されるイベント等に出向き、子ども向け啓発プログラムを実施した。

また、「ふせぎ隊」が保有する各種プログラム資料の貸出や実施レクチャーも行っている。

※ふせぎ隊ホームページ：<http://heco-spc.or.jp/husegitai/index.html>

■ 環境サポートセンター訪問学習対応時に実施

地球温暖化をテーマとして環境サポートセンターへ訪問した下記の学校に対して、温暖化防止啓発プログラムおよびレクチャーを行った。（計6校に実施）

開催日	対象
2008年 6月27日	日本福祉看護学院 19名
10月17日	札幌市立中央中学校 21名
10月24日	札幌市立宮の森中学校 5名
11月 7日	札幌市立八軒中学校 14名
11月14日	札幌市立新川中学校 33名
12月 5日	日本福祉看護学院 24名



■ 出張授業として実施

総合的な学習の時間を中心として、以下の小学校を対象に1から2時限での出張授業を行った。また、カリキュラムの中で事後学習が可能な状況においては、教員の方にご協力いただき、各児童それぞれが温暖化防止行動を設定し、2週間程度の実践後、ふりかえりを行う活動も行った。（計12校に実施）

開催日	対象
2008年 6月5日	釧路市立城山小学校 6年生
6月5日	釧路市立釧路小学校 4年生
6月6日	釧路市立東雲小学校 4年生
6月13日	江別市立大麻泉小学校 6年生
7月4日	千歳市立末広小学校 6年生
7月4日	千歳市立泉沢小学校 5年生
7月8日	千歳市立高台小学校 6年生
7月8日	千歳市立祝梅小学校 4年生
7月11日	千歳市立千歳小学校 5年生
7月11日	千歳市立第二小学校 5年生
8月28日	江別市立第3小学校 6年生
10月3日	富良野市立鳥沼小学校 3～6年生



■ 環境教室としての実施

実施地域の小学生、親子等を対象として事前に参加者を募り、数時間のプログラムとして実施した。各行事の開催日、イベント等の名称、実施地域は以下のとおり。（計4回実施）

開催日	イベント名（実施地域）
2008年 5月24日	ねむろ子ども環境サミット（中標津）
8月2日	江別市夏休み親子環境学校（江別）
12月13日	平成20年度千歳市こども環境教室（千歳）
2009年 1月14日	江別市冬休みこども環境学校（江別）



■ イベントなどでの実施

不特定多数の来訪が望めるイベント等に出展し、来訪者に合わせて短時間のゲーム等を随時実施した。各行事の開催日、イベント等の名称、実施地域は以下のとおり。（計12イベント、19日間実施）

開催日	イベント名（実施地域）
2008年 6月14日	あそびの屋台村（札幌）
6月14日、15日	江別環境広場 2008（江別）
6月19日～21日	環境総合展2008（札幌）
6月28日、29日、7月6日、13日	新千歳空港ECO-AIRPORT 2008（千歳）
8月7日	わくわくエコひろば（札幌）
9月6日	「クルマをにおいて、まちをあるこう!!」（札幌）
9月7日	はこだて・エコフェスタ2008（函館）
11月29日	北海道洞爺湖サミット・J8サミット展（千歳）
11月29日	おもちゃリサイクル市INるべしべ（北見）
2009年 2月14日	北海道環境教育ミーティング 体験屋台（札幌）
2月21日、22日	第3回環境科学展～わくわくエコひろば（札幌）
3月1日	第8回そらち移動エコラウンジ（砂川）



■ サタデーテーリングに合わせた札幌市環境プラザでの実施

札幌市環境プラザにご協力いただき、札幌市交通局が主催するスタンプラリー開催日に合わせて、スタンプ設置場所である札幌市環境プラザに訪れる子どもたちを対象にゲームを実施した。本活動では、ボランティアスタッフがリーダーとなり企画・運営を行った。（計11回実施）

[実施日] 2008年5月10日、6月7日、7月19日、8月23日、9月20日、10月25日、11月15日、12月6日、2009年1月24日、2月28日、3月14日

■ ボランティアスタッフによる活動

札幌市環境プラザでの活動の他、以下の活動についてボランティアスタッフの企画・運営により実施した。

開催日	イベント名（実施地域）
2008年 10月13日	きてみて！児童会館ちよこつとエコつと光の広場（札幌）
12月20日	桑園児童会館 科学フェスティバル（札幌）
2009年 2月7日	札幌西少年少女発明クラブ（札幌）



6-4 温暖化防止一村一品応援プロジェクト

北海道の地域性を活かした温暖化防止に寄与する一品（商品・産業・活動）を取り上げ、北海道スタイルの経済・温暖化対策推進のあり方を提案することを目的として本事業を実施した。

2008年度は、「ご当地資源」をテーマとして、温暖化防止に貢献し、かつ、地域のシンボルとなるような各地の産品や活動を募集し、応募の中から稚内新エネルギー研究会の取り組みである「温暖化対策でまちの再生を ～最北端から最先端へ～」を最優秀事例として、その他8件を優良事例として選定した。なお、最優秀事例に選出された稚内新エネルギー研究会は、2009年2月に実施された「一村一品・知恵の環づくり」事業全国大会（全国大会名は「ストップ温暖化 一村一品 大作戦2009」 主催：環境省）に北海道代表として参加した。

※本事業は環境省が実施する平成20年度温暖化対策「一村一品・知恵の環づくり」事業の一環として実施したものである。

■ 応募概要

「ご当地資源」をテーマに、地球温暖化防止や地域づくりの観点から、地域のシンボルとして広めたい、商品、サービス、活動などを募集した。

[募集期間] 2008年5月24日（土）～8月31日（日）

[応募対象者] 事業者、自治体、業界団体、市民団体、個人等、どなたでも応募可

■ 選考及びその結果

有識者により構成された選考委員会にて、地域特性、独自性、各主体の連携、事業継続性、事業発展性、二酸化炭素（CO₂）削減効果、の6項目からなる選考基準に基づいて選考を進め、最優秀事例を1件、優良事例を8件を選定した。

[最優秀事例] 稚内新エネルギー研究会「温暖化対策でまちの再生を ～最北端から最先端へ～」

[優良事例]

株式会社満寿屋商店 「“十勝産”にこだわるパンづくり」

サフォークランド土別プロジェクト 「羊のまち・土別の新たな挑戦」

別海町 「自立したエネルギー確保をめざして」

白老町 「環境・食・文化 ～誇りある故郷づくり～」

洞爺湖温泉利用協同組合 「温泉排水の廃熱利活用の取り組み」

美幌町 「町産認証住宅の建築と未来を拓く森林づくり」

CLUB風のがっこう 「まちの活性化の夢をのせて」

財団法人下川町ふるさと開発振興公社/下川町「環境に配慮した森林経営の取り組み」



6-5 地球温暖化防止活動推進センターとしての各種ネットワークへの参画

「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく全国の地球温暖化防止活動推進センター（以下「センター」と略）で構成される「地球温暖化防止活動推進センター連絡会」に幹事として参画し、同法改正に伴う連絡調整業務等を実施した。

また、産学民官による情報共有を目的とする「G8サミット環境パートナーシップ連絡会議」を、EPO北海道とともに3回開催した。

この他、北海道地域エネルギー・温暖化対策推進会議（2008年10月14日）、「北海道・北東北知事サミット」の合意に基づく推進員交流事業（2009年1月30日、札幌）、北海道洞爺湖サミット道民会議等、関連の会議や事業に参画した。

7 受託事業

7-1 平成20年度北海道地球温暖化防止活動推進員研修及び温暖化対策『一村一品・知恵の環づくり』事業委託業務（環境省地球環境局委託事業）

7-1-1 地球温暖化防止活動推進員研修事業

環境省より受託し、北海道地球温暖化防止活動推進員（以下、推進員）および制度運用窓口である北海道職員を対象に研修事業を実施した。

推進員は、各地域で派遣要請等による講演会講師や自主的な活動を行うことが主な役割で、京都議定書の第一約束期間が始まり、道民へ温暖化防止への理解を求めていく場は増えている。こうしたニーズに対応し、多くの人に地球温暖化問題をわかりやすく伝え、実践活動を広めていくために、推進員に対して、最新の情報や知識などの情報提供、意見交換などの機会を設けている。また、今年度は、活動の実践体験に基づくスキルアップの場としてOJT研修（実践研修）を実施し、1人1日1kgのCO₂削減の呼びかけ等を実践の題材として活用し、実際の普及啓発活動をとおした技術向上をねらった。また、それらを通じて、可能な限り推進員活動の効果測定を試みた。

■ 基礎研修

第1回研修

[日程] 2008年6月21日（土）9:30～16:30、 22日（日）9:30～13:00

[場所] 札幌ドームおよび北海道環境サポートセンター（札幌市）

[参加者] 推進員22名、北海道職員5名、北海道地方環境事務所職員2名

[内容] 北海道洞爺湖サミット記念環境総合展での情報習得。今年度の推進員活動についての情報・意見交換等。

第2回研修

[日程] 2008年10月3日（金）13:00～20:45

4日（土）8:45～13:00（1泊2日）

[場所] 富良野市

[参加者] 推進員15名、北海道職員5名

北海道地方環境事務所1名

[内容] 行政・NGO等から家庭での温暖化対策導入事例の情報収集、“伝え方”手法の習得、一村一品事業、エコポイント事業の情報収集等。

[講師] 関根 嘉津幸氏（富良野市市民環境課環境係長）

家次 敬介氏（（有）三素 代表取締役）

齊藤 典世氏、小川 喜昌氏（NPO法人C・C・C富良野自然塾）



第3回研修

[日程] 2009年1月24日（土）13:00開始

1月25日（日）13:00終了

[場所] 北海道環境サポートセンター

[参加者] 推進員24名、北海道職員13名

北海道地方環境事務所1名

[内容] 国内の研究者等による最新情報の習得機会
専門家による広報戦略や活動拡大戦略の習得等
活動情報交換の機会等。

[講師] 江守 正多氏

（独立行政法人 国立環境研究所地球環境センター温暖化リスク評価研究室室長）

吉田 理映子氏

（特定非営利活動法人 市民活動情報センター・ハンズオン！埼玉 副代表理事）



■ OJT研修

(1) 「CO₂削減行動呼びかけ実践研修」

[日程] 2008年5月～10月の推進員活動機会

[場所] 道内各地

[ねらい/内容] 各推進員活動（講演やイベント等）の中で日常生活におけるCO₂削減行動の呼びかけを行った。具体的には、日常生活における削減行動を列挙した記入シート（参加者の現在の行動状況と今後の目標行動をチェックできるように工夫する）をセンターが作成し、推進員がこのシートを使ってそれぞれの活動の中でCO₂削減行動を呼びかけた。推進員は可能な限り参加者が記入したシートを回収し、センターがその結果の整理・分析等を行い、推進員活動による呼びかけの効果測定を試みた。

(2) 「1人1日1kgのCO₂削減宣言呼びかけ実践研修」

[日程] 2008年10月～2009年2月の推進員活動機会

[場所] 道内各地

[ねらい/内容] 政府が提唱する「1人1日1kgのCO₂削減チャレンジ宣言」を、推進員活動の中で道民に対して呼びかけた。推進員は、講演やイベントの中で、標記チャレンジ宣言用紙を配布し、宣言参加を促し、可能な限り用紙を回収してセンターへ送付し、センターがこれを集計整理した。

(3) 「エコドライブ実践研修」（JAF等との連携により実施）

[日程] 2008年6月～10月までのうち5箇所程度

[開催地] 苫小牧市、函館市、札幌市、旭川市、帯広市

[ねらい/内容] エコドライブ実践と指導を受ける機会を道内各地で用意し、地域ごとに推進員の参加を得て、体験とおとした実践手法、呼びかけ手法等を習得し、推進員活動機会に役立てた。通常走行による走行データと、エコドライブ知識・実践手法を習得した後のエコドライブ走行による走行データの比較等により、自らの削減数値を把握し、この分野の呼びかけに必要な知識と技術を体験的に習得したうえで、各自の活動の機会を通じて普及啓発を試みた。

(4) 「コミュニティラジオ放送実践研修」（地元放送局等との連携により実施）

[日程] 2008年6月～12月までのうち全6回

[場所] 札幌市

[ねらい/内容] 費用対効果に優る地域コミュニティFMラジオを媒体に、推進員活動や「1人1日1kgのCO₂削減」を念頭においた情報提供についての話題提供を行った。具体的には、推進員自らがラジオ番組のパーソナリティを担うとともに、各回2名の推進員がゲスト出演し、全6回の放送をおとした啓発活動を実践する。放送後はリスナーからのフィードバック等を中心に研修効果を考察した。

(放送範囲)：ラジオ放送（エリア：札幌圏中心）、インターネット放送（エリア：全道）

(放送期間)：6月～12月

7-1-2 温暖化対策『一村一品・知恵の環づくり』事業（6-4参照）

7-2 平成20年度 エコポイント等CO₂削減のための環境行動促進モデル事業（環境省委託事業）

省エネ商品・サービスの購入や利用などの温出効果ガス削減に資する行動をした消費者等に、経済的なインセンティブとしてポイントを付与する「エコ・アクション・ポイント」によるビジネスモデル事業を、(株)JCBが行う全国型事業と連動して実施した。実施に当たっては、以下の会合を開催した。

■ エコ・アクション・ポイント北海道推進連絡会

[日時] 第1回：2008年4月16日（水）16:00～17:30、第2回：5月16日（金）10:00～10:30

[場所] 環境サポートセンター

[参加者] 第1回：15名、第2回：16名

■ エコ・アクション・ポイント事業者説明会

[日時] 第1回：2008年5月16日（金）10:30～12:00、第2回：6月27日（金）10:30～12:00

[場所] 第1回：環境サポートセンター、第2回：北海道経済センター7階 大会議室

[参加者] 第1回：59名、第2回：117名

■ エコ・アクション・ポイント参加企業（順不動）

（有）アラカワ電機、（株）アレフ、飯田ウッドワークシステム（株）、（有）井形電気商会、石上車輛（株）、（株）エコノス、エコモット（株）、カフェ・ノルテ・サッポロ、（株）丸井今井、（株）鋼販、（株）コジマ、（株）シーエンス、（株）ジェーシービー北海道支社、（株）知床第一ホテル、（株）鈴木商会、（株）ドーケン、日本郵政（株）、郵政事業（株）、（株）木楽舎、ロハスクラブ、北海道純馬油本舗（有）、（社）北海道貿易物産振興会、（有）みとも電化ストアー、（有）レッツたかはし

7-3 環境省北海道環境パートナーシップオフィス運営業務 （環境省北海道地方環境事務所請負業務）

前年度に引き続き、環境省北海道環境パートナーシップオフィス（EPO北海道）の運営業務を実施した。（5-1を参照、詳しくは別途報告書参照）

7-4 平成20年度自然再生事業再生普及行動計画運営管理業務 （環境省北海道地方環境事務所請負業務）

釧路湿原自然再生事業における市民参加、環境教育の推進のための5ヶ年の行動計画の進行管理、情報収集提供、所用の活動支援等を実施した。また、圏域の学校等における環境教育の推進を目的として、学校における環境教育の実施状況及び関係機関・団体による受入状況・意向等を調査のうえとりまとめ、「きづく、わかる、まもる 釧路湿原～学校と地域をつなぐ環境教育ガイドブック～」を作成、配布した。

7-5 平成20年度コミュニティ・ファンド等を活用した元気な北の環境保全活動促進事業に係る 広報・一部調査業務（元気な北海道環境コミュニティ・ビジネス推進協議会請負業務）

環境省平成20年度「コミュニティ・ファンド等を活用した環境保全活動促進事業」モデル事業を元気な北海道環境コミュニティ・ビジネス推進協議会が受託し、当財団も協議会の構成員として先進事例等の調査、モデル事業の広報などを行った。

7-6 温暖化影響情報集約型CO₂削減行動促進事業（通称「いきものみつけ」） 北海道地域イベント実施業務（株式会社サステナ請負業務）

地球温暖化や生物多様性に対する関心喚起を目的として、国民参加型の生物調査、温暖化影響調査「いきものみつけ」が本年より開始された。本道においては、生物多様性と地球温暖化を主題テーマとするG8北海道洞爺湖サミットの開催を好機ととらえ、「いきものみつけ」と連携しつつ、北海道での温暖化による影響や生態系の変化に焦点をあてて関心喚起を図るべく、下記行事を開催した。

[イベント名] いきものみつけ ～100万人の温暖化しらべ～ 関連イベント

いきものからのメッセージ ～旭山動物園と考える地球温暖化～
いきものみつけて、暮らしを変える

[開催日時] 2008年12月3日（水） 18:30～20:45

[開催場所] 札幌エルプラザホール（札幌市北区北8条西3丁目）

[講師] 坂東 元氏（旭川市旭山動物園 副園長）、増田 泰氏（財団法人知床財団 事務局次長）

[参加者] 130名

[主催] 北海道「いきものみつけ」実行委員会

（構成メンバー：北海道地球温暖化防止活動推進センター・全国地球温暖化防止活動推進センター・環境省生物多様性センター）

[共催] 旭川市旭山動物園

7-7 地域協働におけるカーボンオフセット（排出量と新エネ環境価値の取引） モデル事業の一部調査業務（NPO法人北海道グリーンファンド請負事業）

企業におけるカーボンオフセットの認知度や地域協働における排出量取引に対するニーズ調査を実施し、とりまとめを行った。また、家庭における新エネルギー設備導入のニーズ及び意識調査を実施した。

7-8 「第六回ほくでん環境ステークホルダーミーティング」企画・運営に関する業務 (北海道電力株式会社請負業務)

北海道電力株式会社における環境リレーション活動の一環として同社が主催する環境ステークホルダーミーティングの企画・運営に関する業務を受託し、実施した。

7-9 「ほくでん環境講演会」開催に伴う企画・運營業務 (北海道電力株式会社請負業務)

北海道電力株式会社の環境リレーション活動の一環として同社が主催する講演会の開催・運營業務を受託し、下記の内容で実施した。

[イベント名]

ほくでん環境講演会 太陽系、46億年前の真実 ～いん石が伝える、かけがえのない星”地球”～

[日時] 2009年1月30日(金) 18:30～20:00

[場所] 札幌国際ビル8階 国際ホール(札幌市中央区北4条西4丁目1)

[講師] 塚本 尚義氏(北海道大学大学院・理学院 自然史科学専攻 教授)

[司会] 橋本 登代子氏(有限会社ボイスオブサッポロ 代表取締役)

[参加者] 104名

[主催] 北海道電力株式会社

[後援] 北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

7-10 平成20年度江別市夏・冬休み環境学校実施業務(江別市請負業務)

江別市が主催する夏休みと冬休みを利用した環境学校の企画・実施を受託した。夏休み環境学校は、江別市内の小学校高学年とその保護者を対象として地産地消とフードマイレージをテーマに体験プログラムを実施した。冬休み環境学校は、江別市内の児童センターに通う子供たちを対象に地球温暖化ふせぎ隊プログラムを提供した。

■ 夏休み親子環境学校

[日時] 2008年8月2日(土) 9:00～15:30

[場所] 江別市民会館、ポスフル江別店、
JA道央のっぼろやさい直売所、野菜畑など

[参加者] 29名



■ 冬休み環境学校

[日時] 2009年1月14日(水) 13:00～16:00

[場所] 江別市野幌公民館

[参加者] 331名

上記共通して [主催] 江別市

7-11 平成20年度千歳市こども環境教室実施業務(千歳市請負業務)

千歳市内に在住の小学生高学年を対象として、地球温暖化防止をテーマとする体験学習型プログラムを実施した。

[日時] 2008年12月13日(土) 13:00～16:00

[場所] 千歳市福祉センター 402号

[参加者] 38名

[主催] 千歳市

7-12 STV創立50周年開局記念環境キャンペーンのメディア展開案監修業務 (株式会社電通北海道請負業務)

札幌テレビ放送株式会社が実施した創立50周年記念環境キャンペーン「for your child こどものためにいまできること」の一環として実施された「あしたの森プロジェクト」環境保全活動支援助成金の監修事務を実施した。

資 料 編

寄附行為
組織図
役員名簿
事務局員名簿
会計関連資料
寄付御礼

財団法人北海道環境財団寄附行為

第1章 総則

(名称)

第1条 この法人は、財団法人北海道環境財団と称する。

(事務所)

第2条 この法人は、事務所を北海道札幌市中央区北4条西4丁目1番地に置く。

(目的)

第3条 この法人は、道民及び事業者の自発的な環境保全活動の促進をめざし、環境に関する情報の提供や環境保全活動への支援などに関する事業を行い、もって北海道の良好な環境の保全と快適な環境の維持、創造に資することを目的とする。

(事業)

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 環境保全に関する普及啓発事業
- (2) 環境に関する情報提供事業
- (3) 環境学習の推進に関する事業
- (4) 環境保全活動等の支援に関する事業
- (5) 中小企業者等が行う環境保全施設等の整備に要した資金の債権管理に関する事業
- (6) 道民、事業者及び行政の環境保全活動に関する連携及び調整
- (7) 環境サポートセンターの設置・管理運営
- (8) 環境保全活動に関する調査研究事業
- (9) 地球温暖化防止活動推進センターに関する事業
- (10) その他目的達成のために必要な事業

第2章 財産及び会計

(財産の構成)

第5条 この法人の財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録に記載された財産
- (2) 寄附金品
- (3) 財産から生ずる収入
- (4) 事業に伴う収入
- (5) 賛助会費
- (6) その他の収入

(財産の種別)

第6条 この法人の財産は、基本財産及び運用財産の2種とする。

2 基本財産は、次に掲げるものをもって構成する。

- (1) 設立当初の財産目録中基本財産の部に記載された財産
- (2) 基本財産とすることを指定して寄附された財産
- (3) 理事会において運用財産から基本財産に繰り入れることを議決した財産

3 運用財産は、基本財産以外の財産とする。

(財産の管理)

第7条 この法人の財産は、理事長が管理し、その方法は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

2 基本財産のうち現金は、郵便官署又は銀行等への定期預金、信託会社への信託、国債又は公社債の購入等安全確実な方法で保管しなければならない。

(基本財産の処分の制限)

第8条 基本財産は、これを処分し、又は担保に供することができない。ただし、事業の遂行上やむを得ない理由があるときは、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経、かつ、北海道知事の承認を得て、その一部を処分し、又はその全部若しくは一部を担保に供することができる。

(経費の支弁)

第9条 この法人の経費は、運用財産をもって支弁する。

(環境ストック基金)

第10条 この法人は、道民の自発的な環境保全活動を促進するため、環境ストック基金（以下「基金」という。）を設置する。

2 基金は、次に掲げるものをもって構成する。

(1) 基金とすることを指定して寄附された財産

(2) 理事会において基金に繰り入れることを議決した財産

3 基金の運用から生じる収入は、次の事業に要する経費に充てるものとする。

(1) 環境保全活動等の支援に関する事業

(2) その他環境保全活動促進のために必要な事業

4 第7条の規定は基金の管理について、第8条の規定は基金の処分について準用する。

(事業計画及び予算)

第11条 この法人の事業計画及びこれに伴う予算に関する書類は、理事長が作成し、毎会計年度開始前に、理事会の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。これを変更しようとするときも同様とする。

(暫定予算)

第12条 前条の規定にかかわらず、やむを得ない理由により予算が成立しないときは、理事長は、理事会の議決を経て、予算成立の日まで前年度の予算に準じ収入支出することができる。

2 前項の収入支出は、新たに成立した予算の収入支出とみなす。

(事業報告及び決算)

第13条 この法人の事業報告及び決算は、毎会計年度終了後3ヶ月以内に理事長が事業報告書、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録等として作成し、監事の監査を受け、理事会の議決及び評議員会の同意を経て、その会計年度終了後3ヶ月以内に北海道知事に報告しなければならない。この場合において、資産の総額に変更があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添えるものとする。

(長期借入金)

第14条 この法人が資金の借入をしようとするときは、その会計年度の収入をもって償還する短期借入金を除き、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。

(義務の負担及び権利の放棄)

第15条 予算で定めたものを除き、この法人が新たに義務を負担し、又は権利を放棄しようとするときは、理事会において理事現在数の3分の2以上の議決及び評議員会の同意を経て、北海道知事に届け出なければならない。

(会計年度)

第16条 この法人の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

第3章 役員

(種類及び定数)

第17条 この法人に、次の役員を置く。

- (1) 理事 10人以上15人以内
- (2) 監事 2人

2 理事のうち、1人を理事長、1人を専務理事とする。

(選任等)

第18条 理事及び監事は、評議員会において選任する。

- 2 理事は、互選により、理事長及び専務理事を選任する。
- 3 理事、監事及び評議員は、相互にこれを兼ねることができない。
- 4 理事のいずれか1名とその親族その他特別の関係にあるものの合計数は、理事総数の3分の1を超えてはならない。
- 5 監事は、相互に親族その他特別な関係にある者であってはならない。
- 6 理事に異動があったときは、2週間以内に登記し、登記簿謄本を添え、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。
- 7 監事に異動があったときは、遅滞なくその旨を北海道知事に届け出なければならない。

(職務)

第19条 理事長は、この法人を代表し、その業務を総理する。

- 2 専務理事は、理事長を補佐し、理事長に事故があるとき又は理事長が欠けたときは、その職務を代行する。
- 3 理事は、理事会を構成し、この寄附行為に定めるところにより、この法人の業務を執行する。
- 4 監事は、次に掲げる職務を行う。
 - (1) 財産及び会計を監査すること。
 - (2) 理事の業務執行状況を監査すること。
 - (3) 財産、会計及び業務の執行について、不正の事実を発見したときは、これを理事会及び評議員会又は北海道知事に報告すること。
 - (4) 前号の報告をするため必要があるときは、理事会及び評議員会の招集を請求し、又は招集すること。

(任期)

第20条 役員任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

- 2 補欠又は増員により選任された役員任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、辞任又は任期満了後においても、後任者が就任するまでは、その職務を行わなければならない。

(解任)

第21条 役員が次の各号のいずれかに該当するときは、理事会及び評議員会において、それぞれ及び評議員現理事現在数定数の3分の2以上の議決に基づいて解任することができる。この場合において、理事及び評議員会において議決する前に、当該役員に対し弁明の機会を与えなければならない。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に耐えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(報酬等)

第22条 役員は、無給とする。ただし、常勤の役員は、有給とすることができる。

- 2 役員には、費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第4章 理事会

(構成)

第23条 理事会は、理事をもって構成する。

(権能)

第24条 理事会は、この寄附行為に定めるもののほか、この法人の業務に関する重要な事項を議決する。

(開催)

第25条 理事会は、次のいずれかに該当する場合に開催する。

- (1) 理事長が必要と認めたとき。
- (2) 理事現在数の3分の1以上から会議の目的を記載した書面をもって招集の請求があったとき。
- (3) 第19条第4項第4号の規定により、監事から招集の請求があったとき又は監事が招集したとき。

(招集)

第26条 理事会は、第19条第4項第4号の規定により、監事が招集する場合を除き、理事長が招集する。

- 2 理事長は、前条第2号又は第3号の規定により請求があったときは、30日以内に理事会を招集しなければならない。
- 3 理事会を招集するときは、会議の日時、場所、目的及び審議事項を記載した書面をもって、少なくとも7日前までに通知しなければならない。

(議長)

第27条 理事会の議長は、理事長がこれにあたる。

(定足数)

第28条 理事会は、理事現在数の3分の2以上の出席がなければ開会することができない。

(議決)

第29条 理事会の議事は、この寄附行為に別に定めるもののほか、出席した理事の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(書面表決等)

第30条 やむを得ない理由のため理事会に出席できない理事は、あらかじめ通知された事項について書面をもって表決し、又は他の理事を代理人として表決を委任することができる。この場合において、前2条の規定の適用については、その理事は出席したものとみなす。

(議事録)

第31条 理事会の議事については、次の事項を記載した議事録を作成しなければならない。

- (1) 日時及び場所
- (2) 理事の現在員数
- (3) 出席した理事の数及びその氏名（書面表決者及び表決委任者の場合にあつては、その旨を付記すること。）
- (4) 審議事項及び議決事項
- (5) 議事の経過の概要及びその結果
- (6) 議事録署名人の選任に関する事項

2 議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が署名押印しなければならない。

第5章 評議員及び評議員会

(評議員)

第32条 この法人に、評議員15人以上20人以内を置く。

2 評議員は、理事会において選出し、理事長が委嘱する。

3 第20条から第22条までの規定は、評議員について準用する。この場合において、これらの規定中「役員」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

(評議員会)

第33条 評議員会は、評議員をもって構成する。

2 評議員会は、第19条第5項第4号の規定により監事が招集する場合を除き、理事長が招集する。

3 評議員会の議長は、評議員会において互選する。

4 評議員会は、この寄附行為に別に定めるもののほか、理事長の諮問に応じ、必要な事項について審議し、助言する。

5 第28条から第31条までの規定は、評議員会について準用する。この場合において、これらの規定中「理事会」とあるのは「評議員会」と、「理事」とあるのは「評議員」と読み替えるものとする。

6 前各項に定めるもののほか、評議員会の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第6章 顧問

(顧問)

第34条 理事長は、理事会及び評議員会の同意を得て、顧問を若干名委嘱することができる。

2 顧問は、理事長の相談に応ずる。

第7章 賛助会員

(賛助会員)

第35条 財団の目的に賛同し、会費を納入する個人及び法人その他の団体を賛助会員とする。

2 賛助会員は、財団からの情報及び資料の提供を受けることができる。

3 前2項に定めるもののほか、賛助会員に関する基本的な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

第8章 寄附行為の変更及び解散

(寄附行為の変更)

第36条 この寄附行為は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経、かつ、北海道知事の認可を得なければ変更することができない。

(解散)

第37条 この法人は、民法第68条第1項第2号から第4号までの規定によるほか、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を得て解散することができる。

(残余財産の処分)

第38条 この法人が解散のときに有する残余財産は、理事会及び評議員会において、それぞれ理事現在数及び評議員現在数の4分の3以上の議決を経、かつ、北海道知事の許可を得て、この法人と類似の目的を有する団体に寄附するものとする。

第9章 事務局

(設置等)

第39条 この法人の事務を処理するため、事務局を設置する。

2 事務局には、事務局長及び職員を置く。

3 事務局長及び職員は、理事長が任免する。

4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

(備付け書類及び帳簿)

第40条 事務所には、常に次に掲げる帳簿及び書類を備えておかなければならない。

- (1) 寄附行為
- (2) 理事、監事、評議員及び職員の名簿及び履歴書
- (3) 許可、認可等及び登記に関する書類
- (4) 寄附行為に定める機関の議事に関する書類
- (5) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (6) 資産、負債及び正味財産の状況を示す書類
- (7) その他必要な帳簿及び書類

第10章 雑則

(委任)

第41条 この寄附行為に定めるもののほか、この法人の運営に関し必要な事項は、理事会の議決を経て、理事長が別に定める。

附則

- 1 この寄附行為は、この法人の設立許可のあった日から施行する。
- 2 この法人の設立当初の役員及び評議員は、第18条第1項及び第2項並びに第32条第2項の規定にかかわらず、設立者の定めるところとし、その任期は、第20条第1項及び第32条第3項の規定にかかわらず、平成11年3月31日までとする。
- 3 この法人の設立初年度の事業計画及び予算は、第11条の規定にかかわらず、設立者の定めるところによる。
- 4 この法人の設立初年度の会計年度は、第16条の規定にかかわらず、設立許可のあった日から平成10年3月31日までとする。

附則

この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

附則

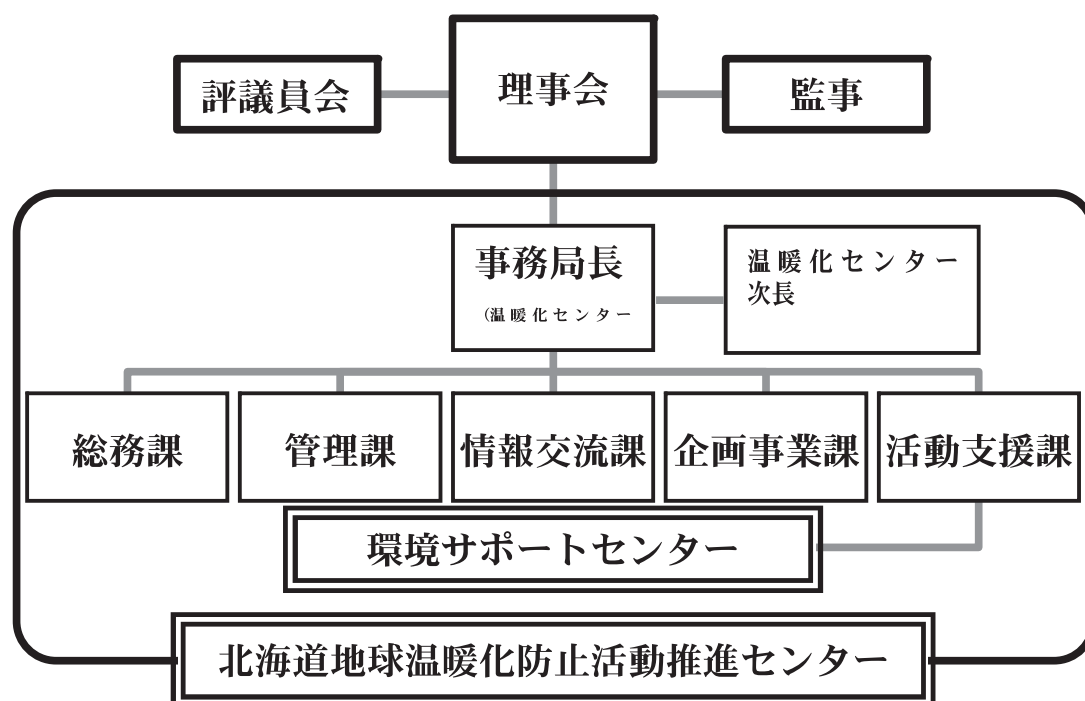
この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

附則

この寄附行為は、寄附行為の変更認可のあった日から施行する。

組織図

(2009年3月31日時点)



役員名簿

(2009年3月31日時点)

理事長	辻井 達一	
専務理事	齋藤 卓也	
理事	五十嵐 智嘉子	(社) 北海道総合研究調査会 常務理事企画室長
〃	大津 和子	北海道教育大学札幌校 教授
〃	大和田 勲	(社) 北海道観光振興機構
〃	九津見 奈保美	北広島消費者協会 顧問
〃	佐々木 義之	(社) 北海道商工会議所連合会 常務理事
〃	佐々木 亮子	(有) アールズセミナー 代表取締役
〃	南原 一晴	北海道町村会 常務理事
〃	平山 雅彦	北海道農業協同組合中央会 農業振興部長
〃	古市 徹	北海道大学大学院工学研究科 教授
〃	前泉 洋三	北海道ガス株式会社 相談役
〃	吉田 かよ子	北星学園大学短期大学部 教授
監事	鳥井 真司	(財) 北海道環境科学技術センター 理事長
〃	檜森 聖一	(株) 北洋銀行 常務取締役

評議員	石塚 祐江	(特非) 環境り・ふれんず 理事
〃	小川 巖	エコ・ネットワーク 代表
〃	小沢 正晴	(株) 北海道新聞社 事業局次長
〃	金子 正美	酪農学園大学 教授
〃	久保田 修	(株) 電通北海道 マーケティングプランニング部 部長
〃	小林 三樹	藤女子大学 教授
〃	塩谷 敏雄	元(社) 北海道観光連盟 専務理事
〃	高木 晴光	北海道自然体験学校NEOS 代表
〃	谷口 二郎	(社) 北海道産業廃棄物協会 会長
〃	中井 和子	中井景観デザイン研究室 代表
〃	中村 和子	(株) 丸中物産 代表取締役社長
〃	野谷 悦子	(有) うつぐみ 取締役社長
〃	船水 尚行	北海道大学大学院工学研究科 教授
〃	八木 宏樹	小樽商科大学商学部 教授
〃	山田 三夫	(財) 日本野鳥の会札幌支部 支部長

職員名簿

(2009年3月31日時点)

事務局長		齋藤 卓也
温暖化センター	次長	山田 准司 (HES推進機構事務局長)
総務課・管理課	課長	茂野 均 (兼務)
	非常勤	安住 真紀子 (兼務)
情報交流課	課長	内山 到
企画事業課	課長	久保田 学
	主事	山本 泰志
活動支援課	課長	谷村 公伸
	主任	松本 真司
	主事	安保 芳久
	非常勤	山田 祐子
	非常勤	杉山 里江子
契約職員		内田 しのぶ
		吉村 暢彦
		有坂 美紀
		松本 公洋

2008年度の収支概要（一般会計）

（2008年4月1日～2009年3月31日）

（単位：円）

科 目	決 算 額
< 経常収益 >	
1 基本財産受取利息	319,526
2 基金受取利息	2,041,774
3 賛助会員受取会費	749,000
4 受託事業収益	65,077,777
5 受取補助金等	90,445,625
6 受取寄付金	1,519,154
7 受取施設利用料	321,500
8 雑収益	2,050,120
経常収益計	162,524,476
< 経常費用 >	
1 補助事業費	90,445,625
2 受託事業費	54,957,232
3 環境保全活動促進事業費	10,052,017
経常費用計	155,454,874

寄付御礼

2008年度は、タキクミフレンズ代表の滝久美子様、ねむろ子ども環境サミット実行委員会様、アサヒビール株式会社様、株式会社日本航空インターナショナル様、株式会社じょうてつ様、丸大食品株式会社様、Aコープチェーン・北海道様、北海道新聞社様、北海道テレビ放送株式会社様をはじめ、大勢の皆様から寄付金をいただきました。

当財団の活動にご理解・ご支援を賜りましたことを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

2008年度活動報告書



編集・発行

財団法人北海道環境財団／北海道地球温暖化防止活動推進センター

〒060-0004

札幌市中央区北4条西4丁目1番地 伊藤・加藤ビル4階

TEL : 011-218-7811 FAX : 011-218-7812

URL : <http://www.heco-spc.or.jp>

発行 2009年6月